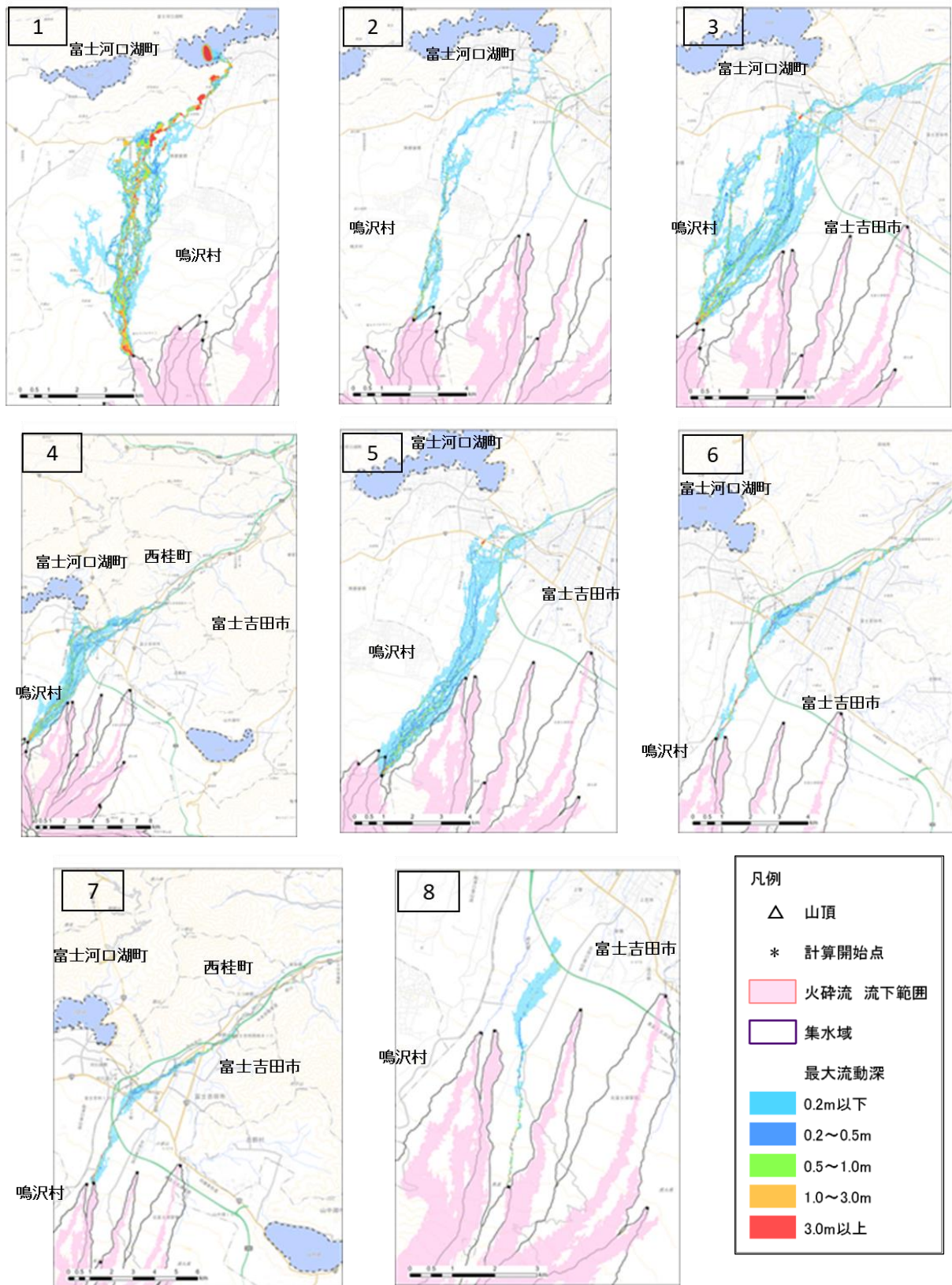
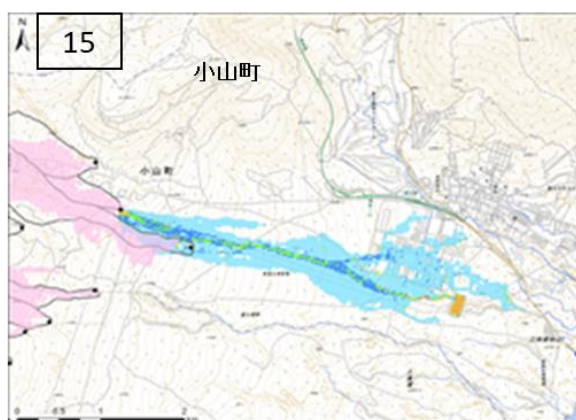
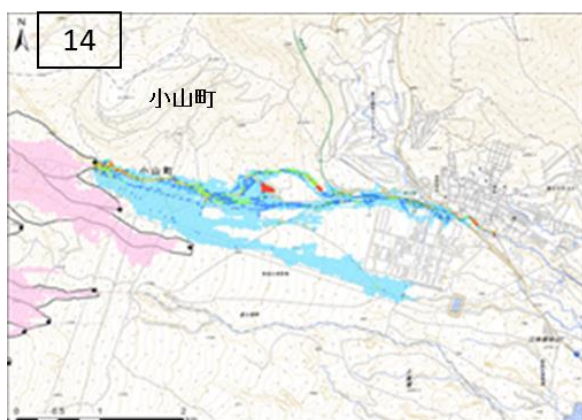
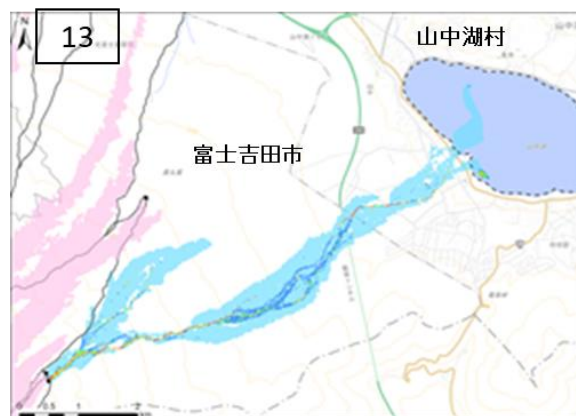


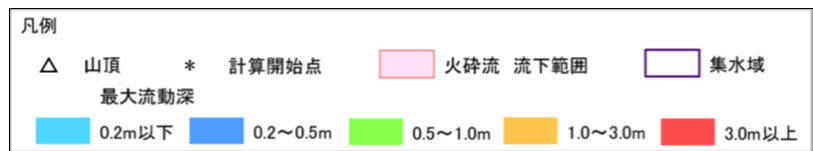
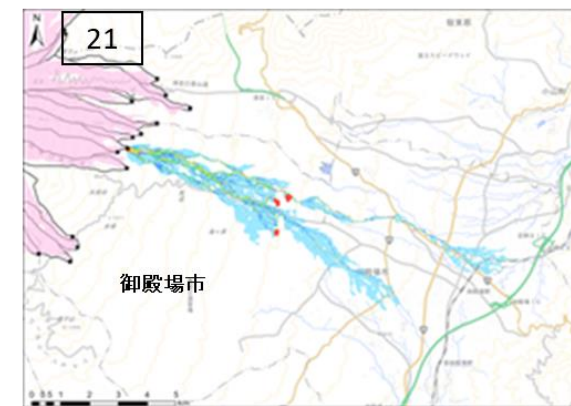
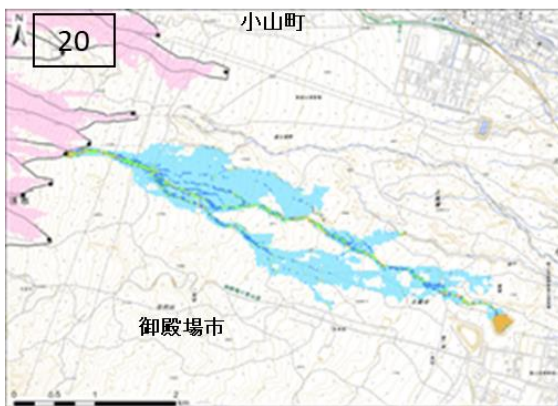
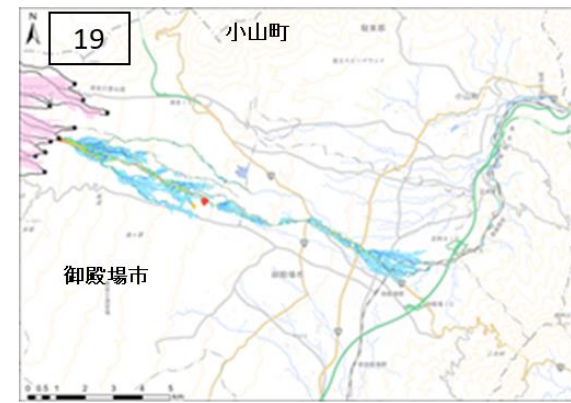
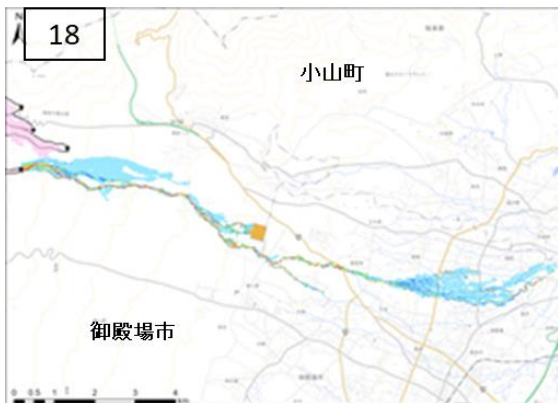
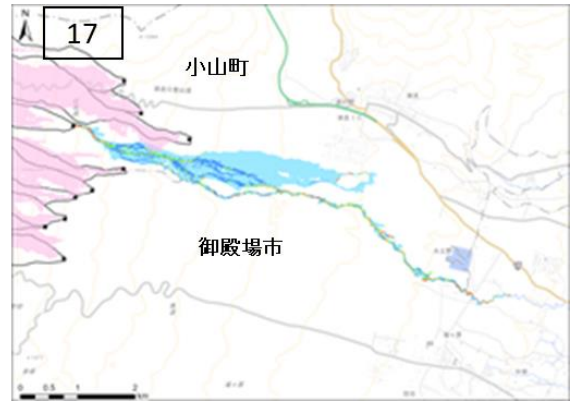
③ 融雪型火山泥流ドリルマップ（最大流動深を表示）



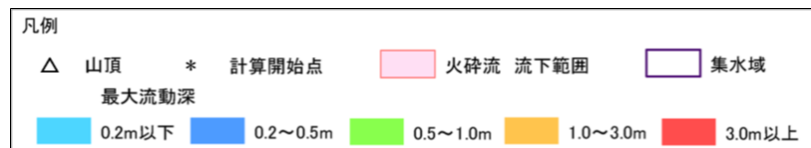
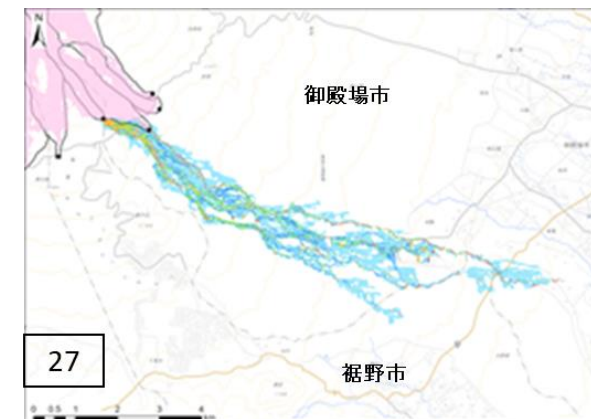
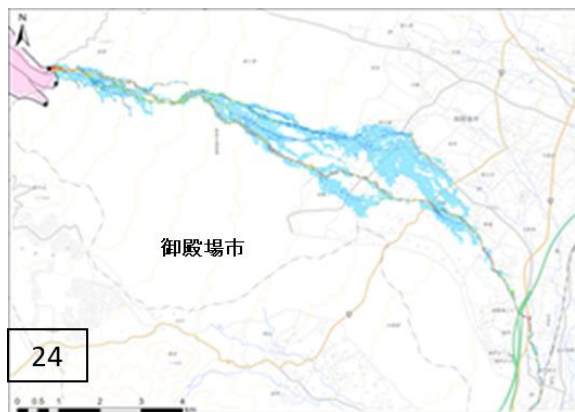
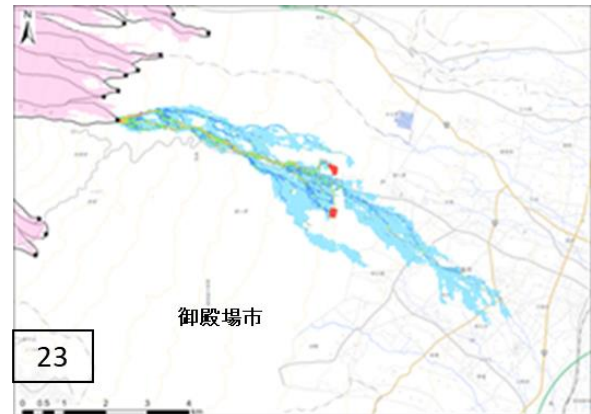
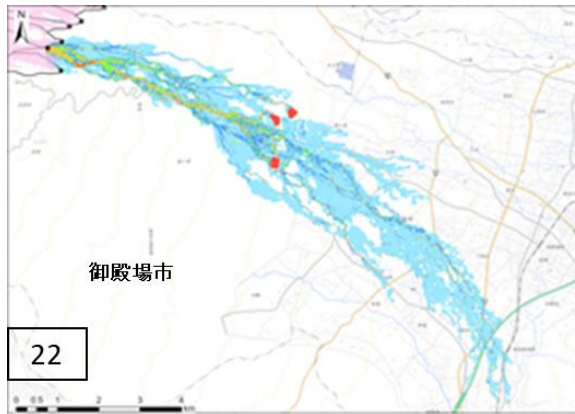
※ 計算開始点から融雪型火山泥流が発生した場合の計算結果であり、これら以外の場所で発生した場合は、異なる結果となる。



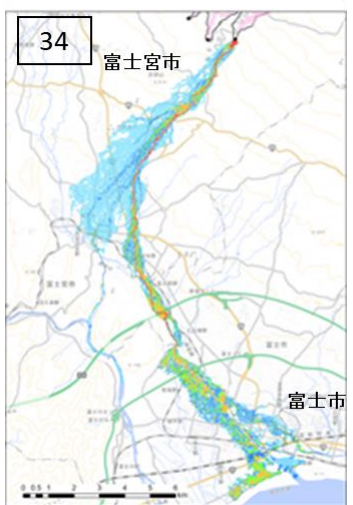
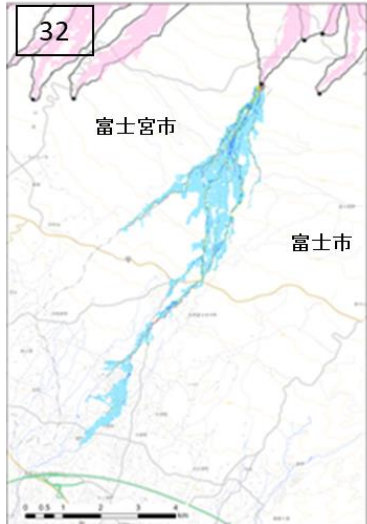
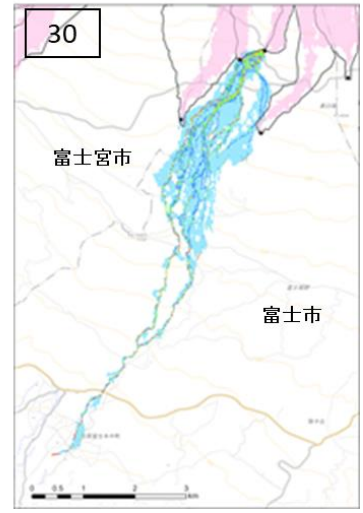
※ 計算開始点から融雪型火山泥流が発生した場合の計算結果であり、これら以外の場所で発生した場合は、異なる結果となる。



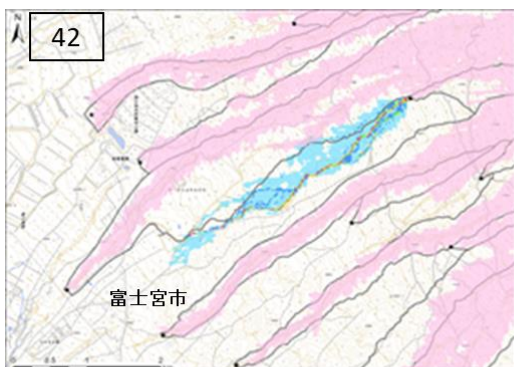
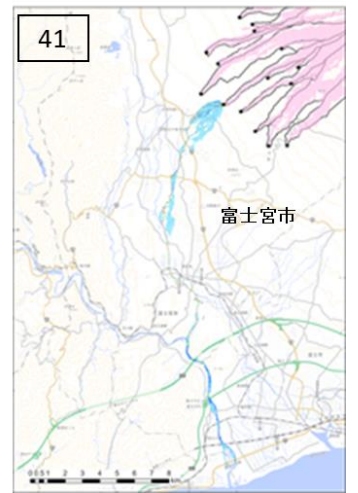
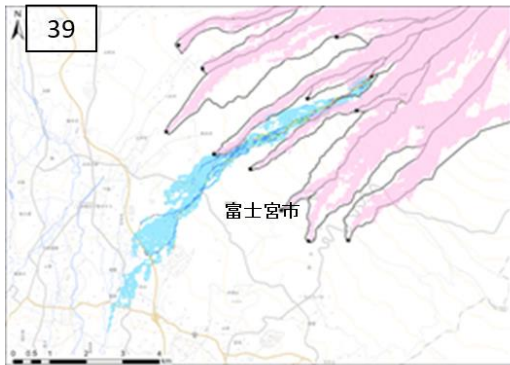
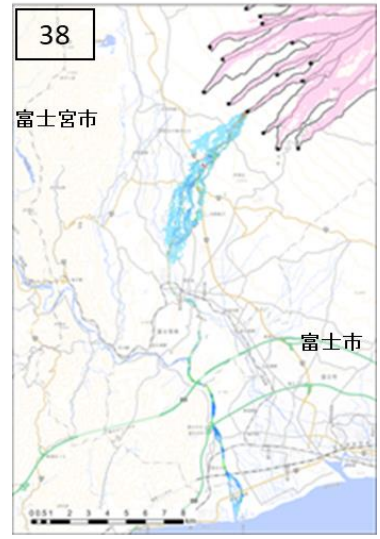
※ 計算開始点から融雪型火山泥流が発生した場合の計算結果であり、これら以外の場所で発生した場合は、異なる結果となる。



※ 計算開始点から融雪型火山泥流が発生した場合の計算結果であり、これら以外の場所で発生した場合は、異なる結果となる。



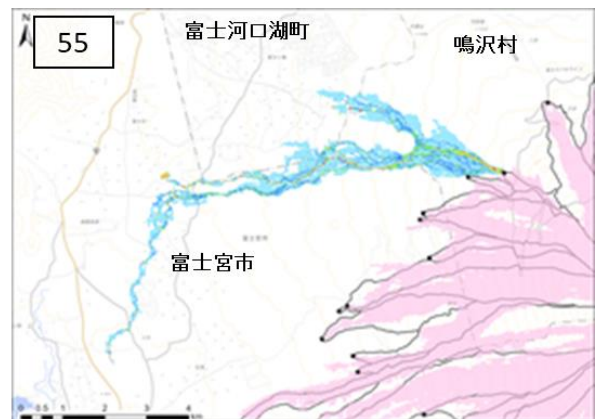
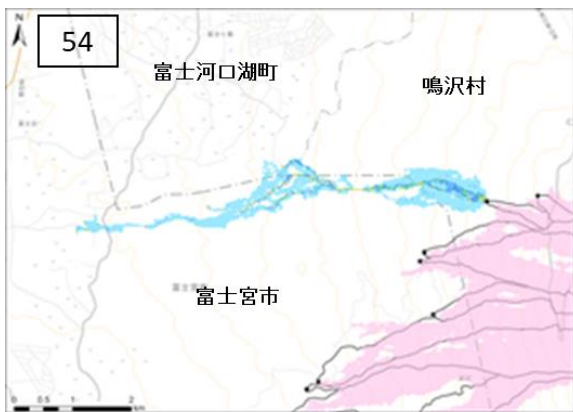
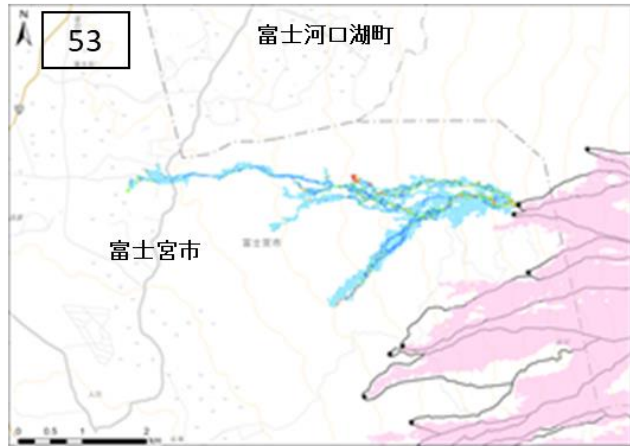
※ 計算開始点から融雪型火山泥流が発生した場合の計算結果であり、これら以外の場所で発生した場合は、異なる結果となる。



※ 計算開始点から融雪型火山泥流が発生した場合の計算結果であり、これら以外の場所で発生した場合は、異なる結果となる。



※ 計算開始点から融雪型火山泥流が発生した場合の計算結果であり、これら以外の場所で発生した場合は、異なる結果となる。



※ 計算開始点から融雪型火山泥流が発生した場合の計算結果であり、これら以外の場所で発生した場合は、異なる結果となる。

(3) 融雪型火山泥流ドリルマップの重ね合わせ図

全流下方向のドリルマップを重ね合わせたマップを図 5.5-2 から図 5.5-4 に示す。

なお異なる地点から発生した融雪型火山泥流の氾濫範囲が重なる地域については、溶岩流と同様に危険度・最短到達時間・最大流動深区分をそれぞれ表示するよう設定した。

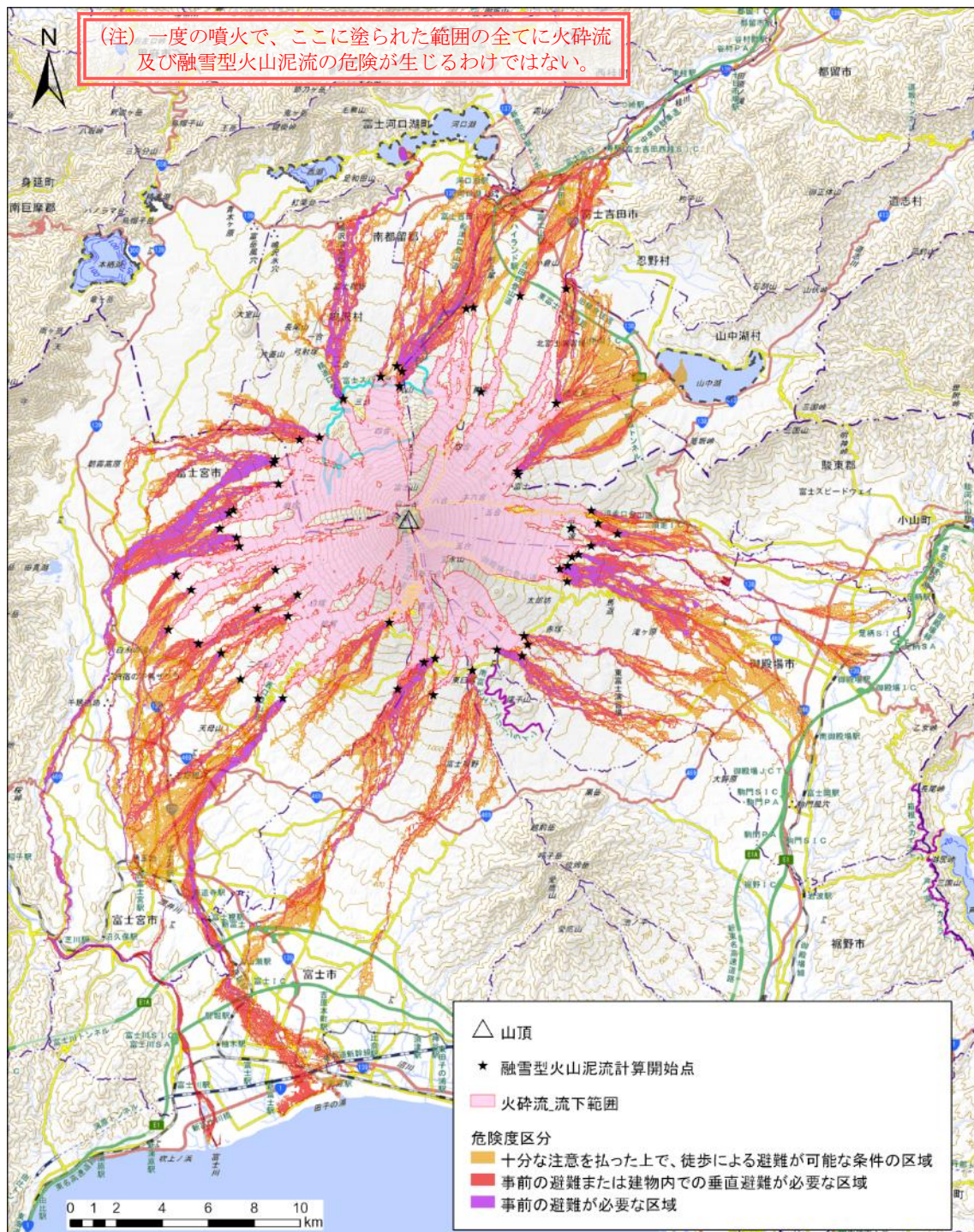


図 5.5-2 融雪型火山泥流ドリルマップの重ね合わせ図（危険度区分）

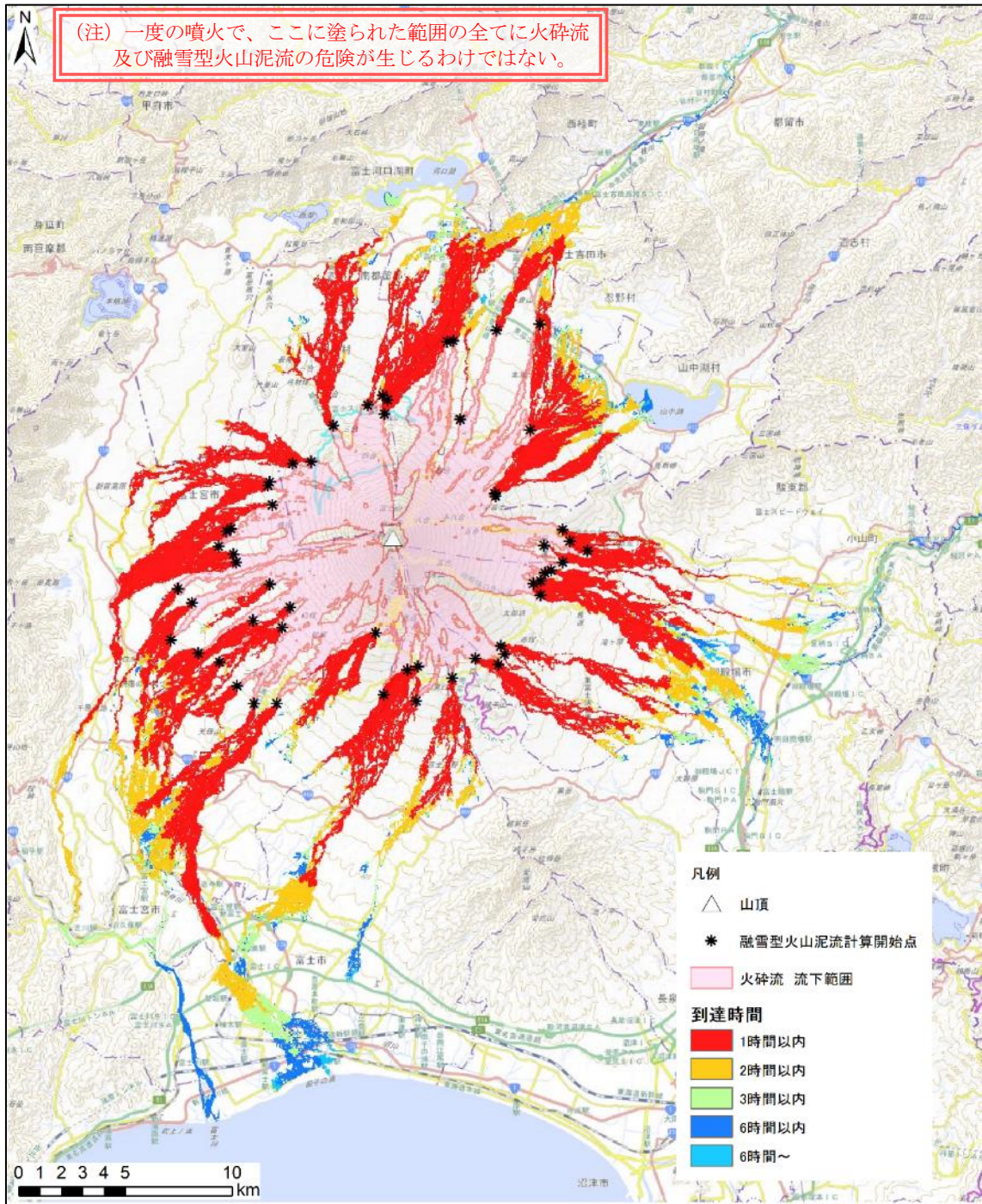


図 5.5-3 融雪型火山泥流ドリルマップの重ね合わせ図（最短到達時間）

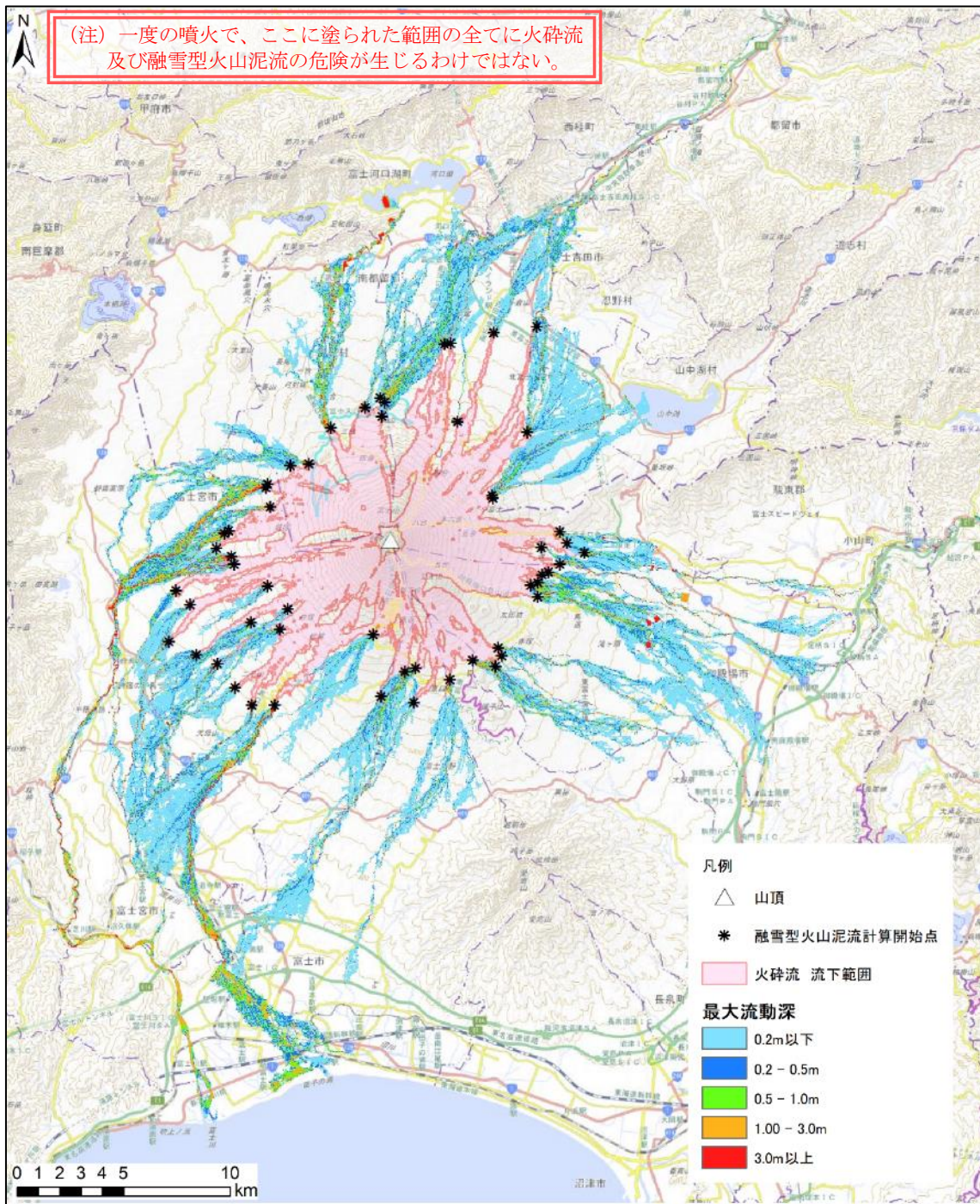


図 5.5-4 融雪型火山泥流ドリルマップの重ね合わせ図（最大流動深）

(4) 融雪型火山泥流可能性マップ

融雪型火山泥流は谷筋に集中して流下し山腹斜面は薄く広く流下することや、微地形の影響を顕著に受けるため、同じ流動深・危険度で最も遠くまで到達している地点を結んで包絡線を引くことが困難である。そのため融雪型火山泥流の可能性マップは、到達範囲および到達時間区分のみを作成した。

その際に尾根地形をしている地域は可能性マップの範囲から除き、また包絡線の中に含まれていて周囲を融雪型火山泥流が流下する島状の地域は、そこに一次避難することが可能であると考えて可能性マップの範囲から除外した。

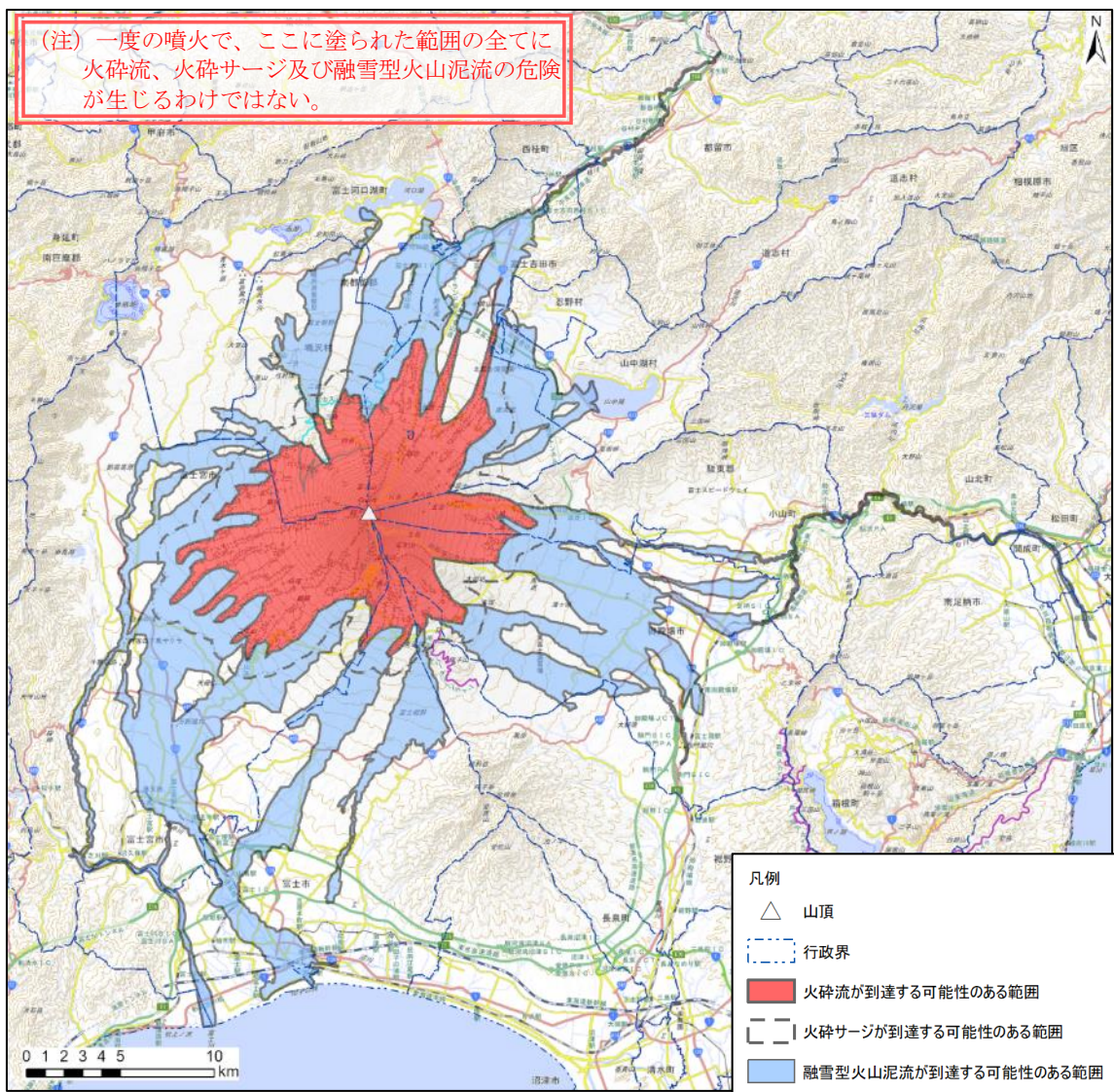
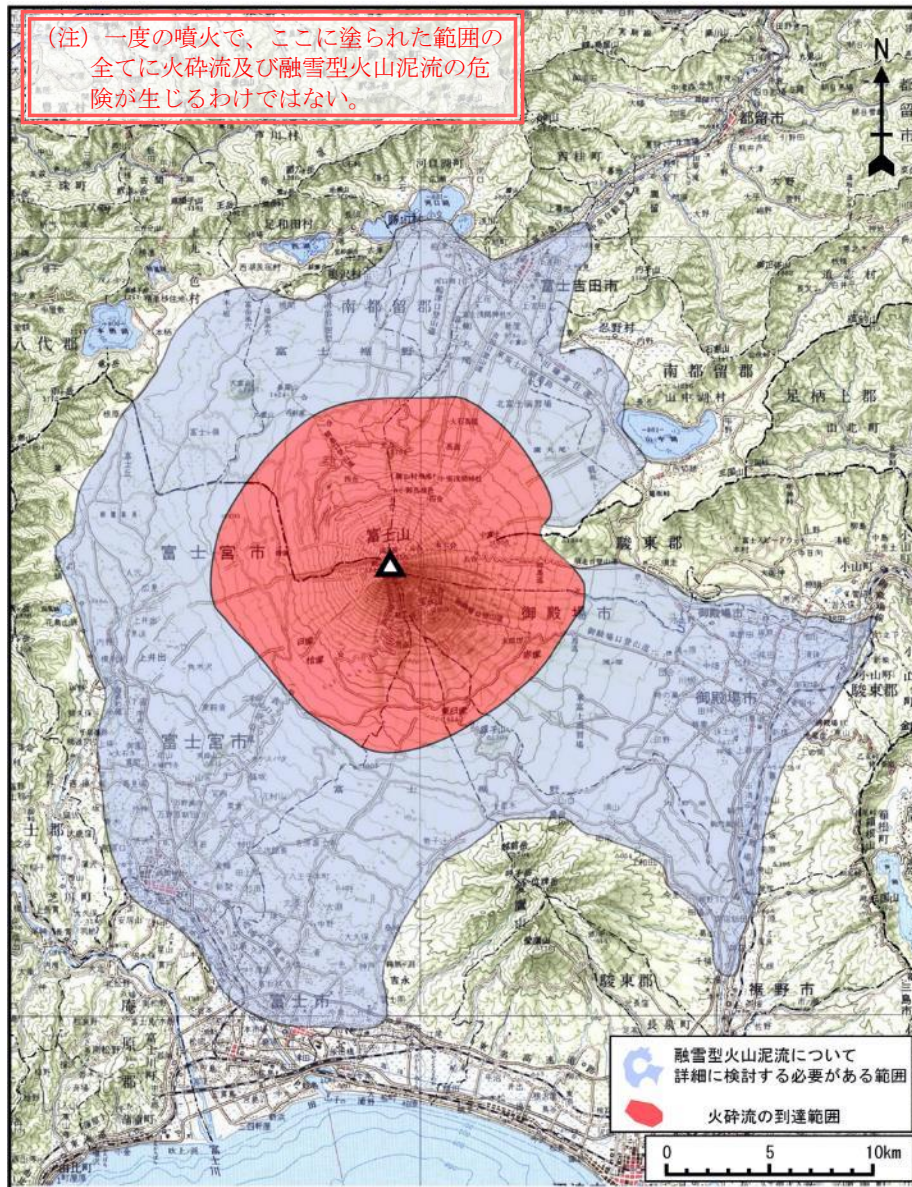


図 5.5-5 融雪型火山泥流の可能性マップ (到達範囲)

【参考】

平成 16 年版報告書での融雪型火山泥流可能性マップ



(注) 一度の噴火で、ここに塗られた範囲の全てに火砕流、火砕サージ及び融雪型火山泥流の危険が生じるわけではない。

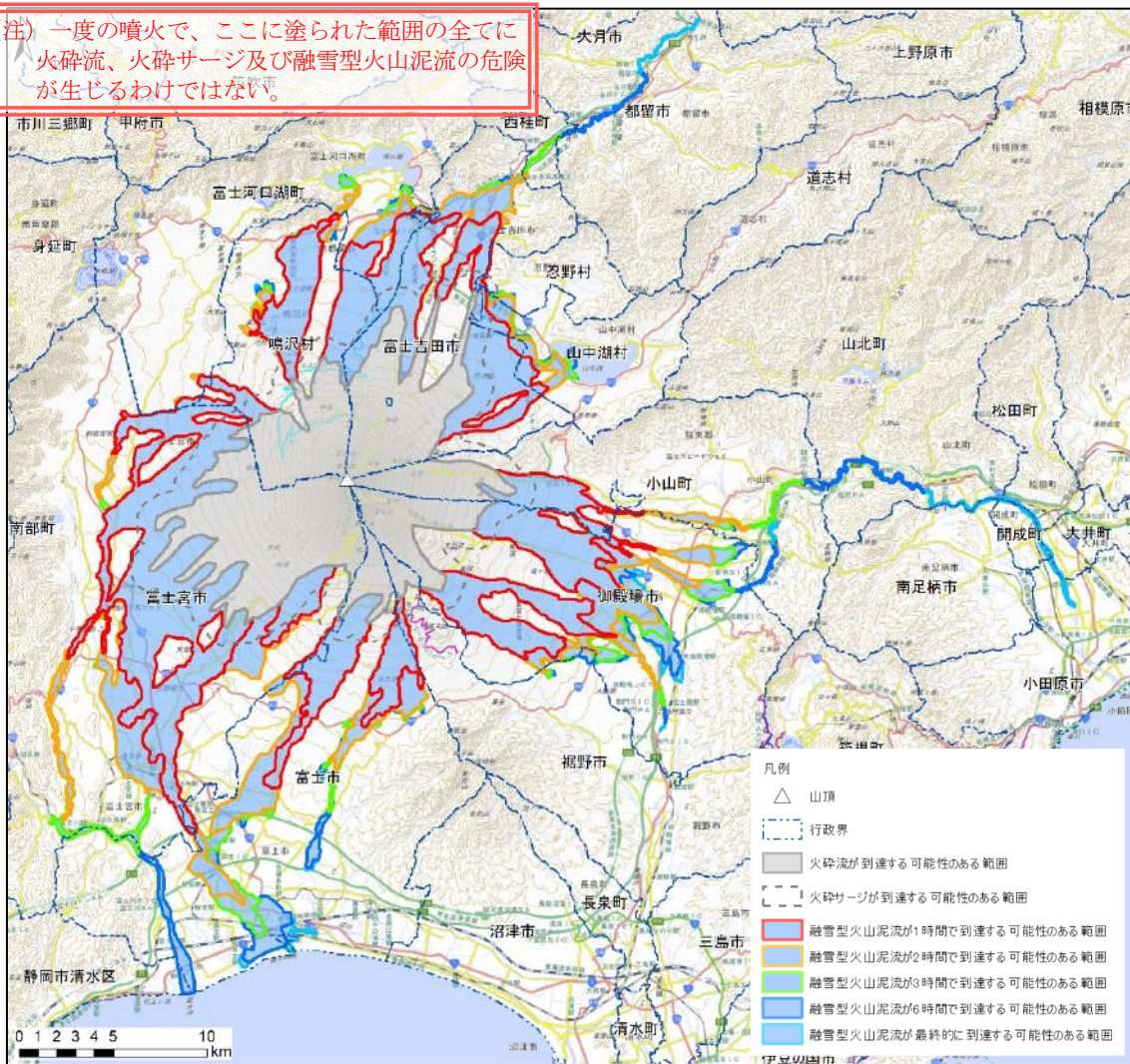


図 5.5-6 融雪型火山泥流の可能性マップ (到達時間)

また市町村等の地方自治体における防災担当職員などによる該当市町村内の影響把握等を目的として、融雪型火山泥流の流下方向で区分し、市町村境界を明示した可能性マップ（到達時間による区分）を作成した。

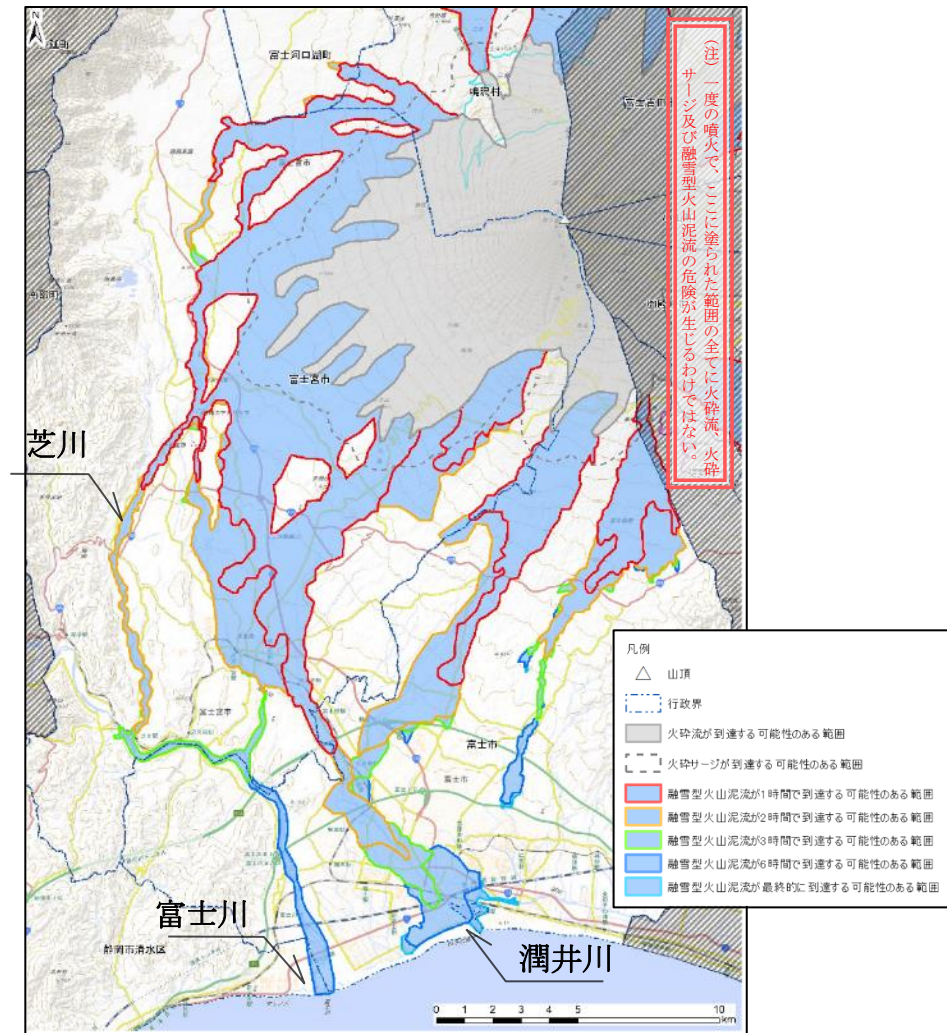


図 5.5-7 富士山西麓（芝川・潤井川・富士川方面）

富士河口湖町・鳴沢村・富士宮市・富士市・静岡市に流下した例

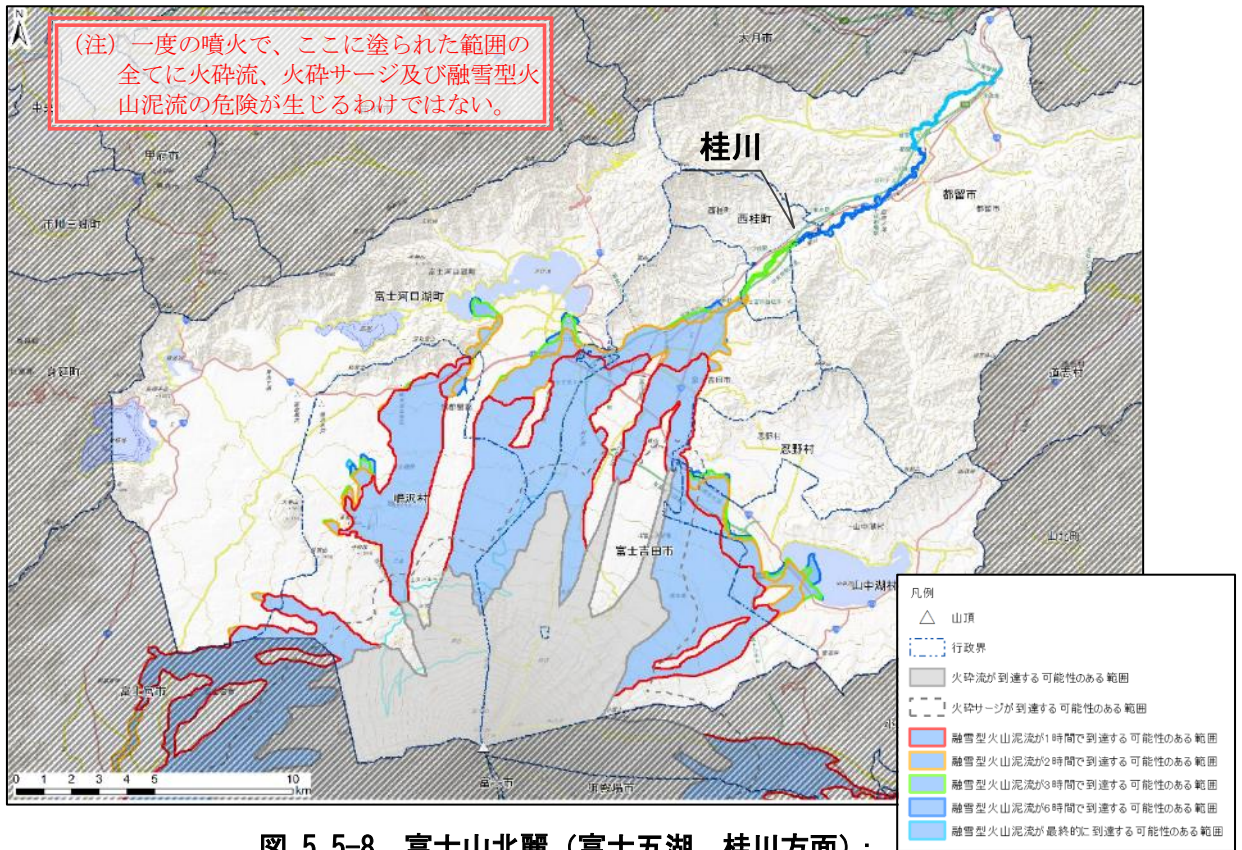


図 5.5-8 富士山北麓（富士五湖、桂川方面）：

富士河口湖町・鳴沢村・富士吉田市・山中湖村・忍野村・西桂町・都留市に流下した例

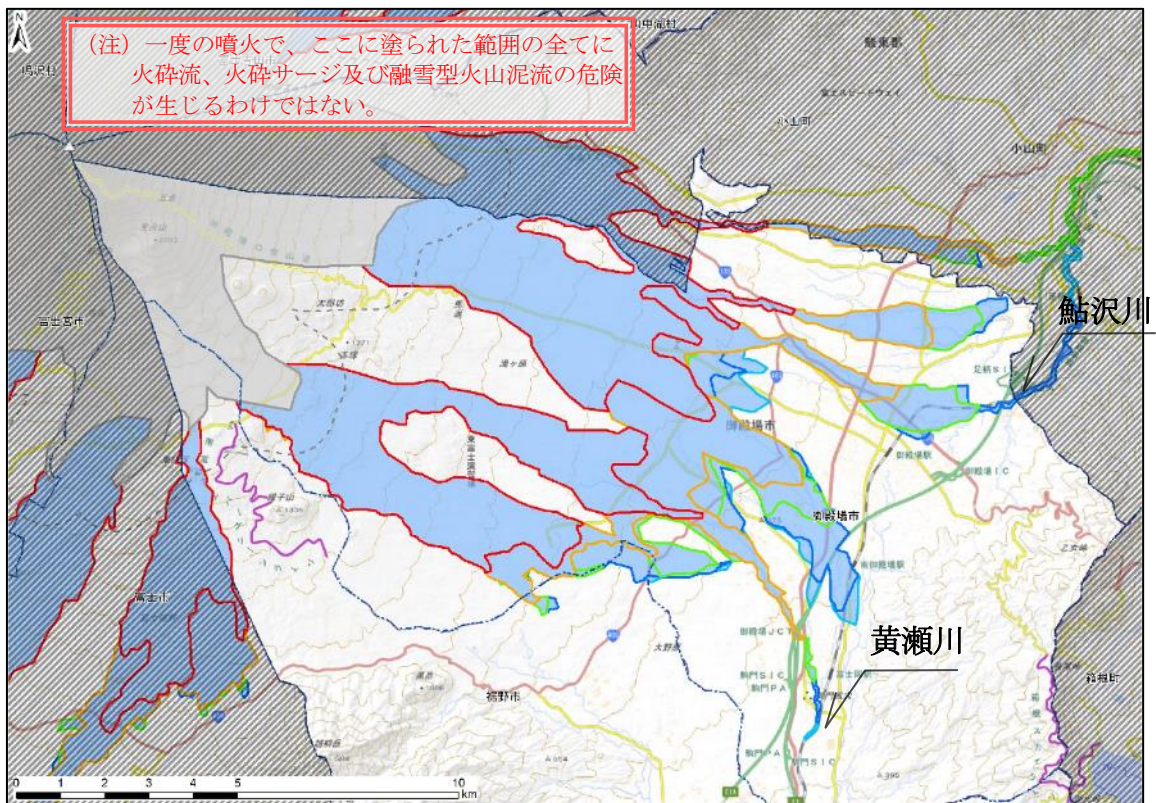


図 5.5-9 富士山南東麓（鮎沢川・黄瀬川方面）：

御殿場市・裾野市に流下した例

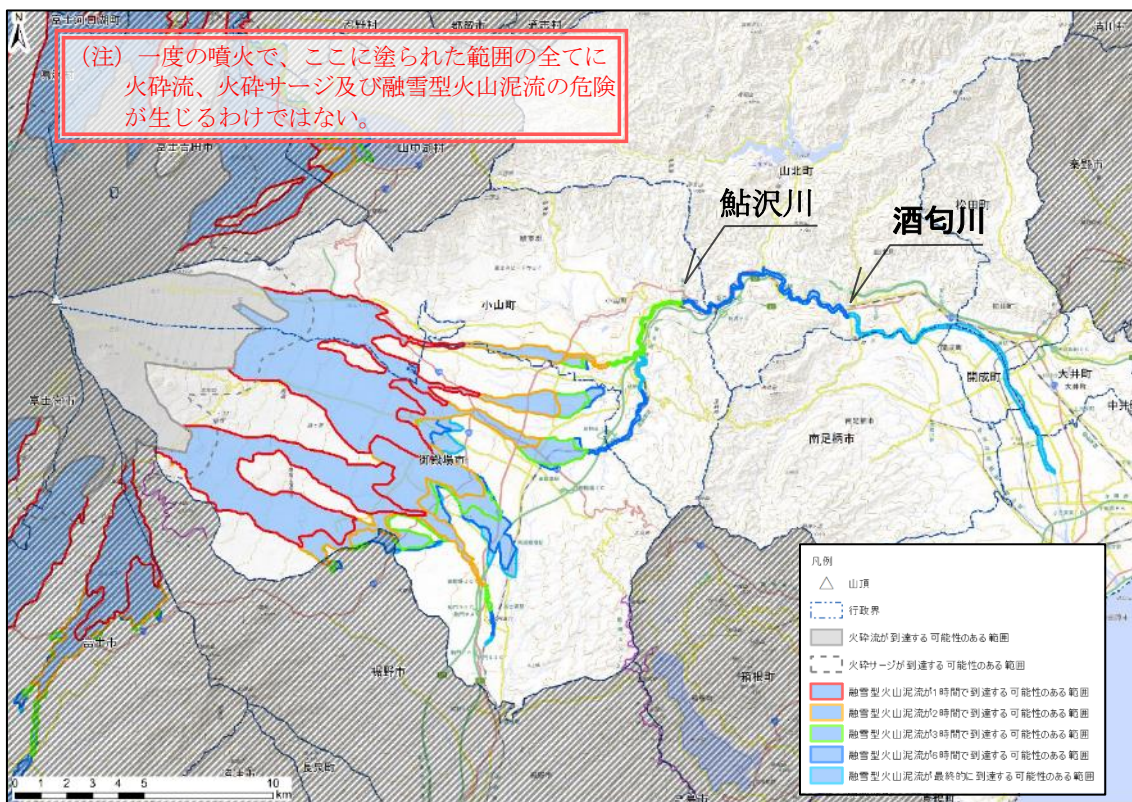


図 5.5-10 富士山東麓・鮎沢川方面：

小山町・御殿場市・山北町・南足柄市・松田町・開成町・大井町・小田原市に流下した例

(5) 融雪型火山泥流可能性マップとドリルマップの重ね合わせ図

融雪型火山泥流のドリルマップを重ね合わせた図から、可能性マップを作成する際に、どのように地形を考慮して包絡線を引いたのか、根拠が分かるように可能性マップと全てのドリルマップを重ね合わせた図を作成した。

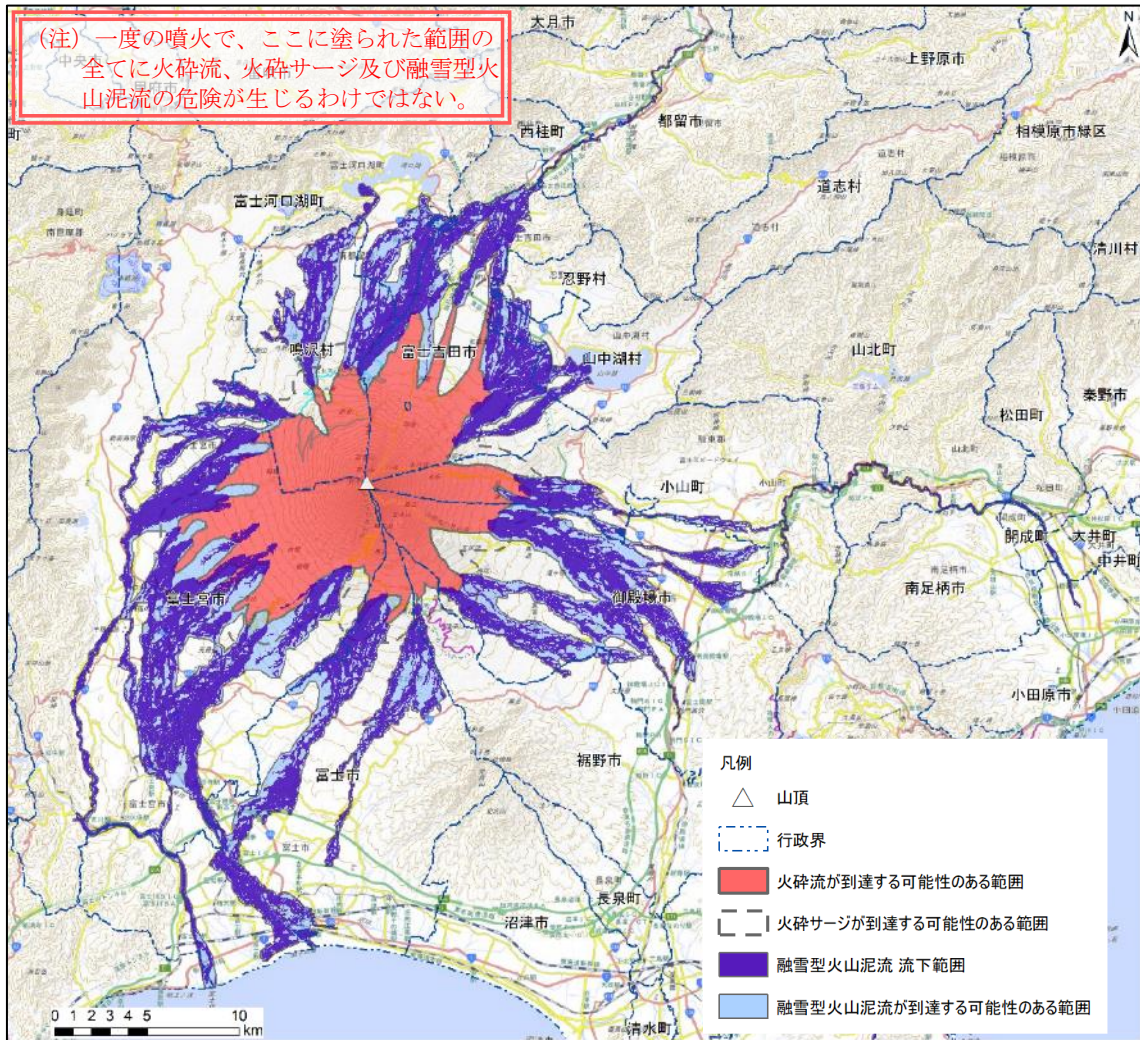


図 5.5-11 融雪型火山泥流ドリルマップの重ね合わせ図（最大流動深）